

## ウソ(アトリ科) 全長 16cm

神宮寺、雄物川左岸に生える5～6本の桜並木。

かなり老木のソメイヨシノですが、毎年春になると綺麗な花を楽しませてくれます。まだまだ底冷えが厳しい2月、この木に数羽のウソが飛来した。ウソは桜の蕾が大好きで、少しくらいの風雪は気にも留めずに食事を続けていた。



桜のつぼみを片っ端から食べている。(オス)

ソメイヨシノを好み、他のサクラ類はあまり食べないと言われているが、観桜会の影響を考えたら、あまり食べ過ぎないでほしいものです。

オスは、頬が紅色で目立ちますが、メスのご多分にもれず地味な色合いです。ずんぐりした体型はどことなく愛着が湧いてきます。



頬の紅色が鮮やか。



灰褐色のメス、あまり目立ちません。

桜の枝からあまり動かず、ただひたすらもくもくと口と舌を上手に使い、花芽の芯部分だけを食べていた。

胸からお腹が淡い紅色を帯びる、見慣れないオス2羽が近寄って来た。

こちらは冬鳥として渡来する亜種のアカウソで、ずんぐりした体型と紅色の淡い色合いから、上品な和菓子のようにも感じられたが、甘党の私だけでしょうか。



左がアカウソ(オス)、右はウソ(オス)。



お腹の薄紅色は、和菓子を連想させる？。